

高速バスに抗菌・抗ウイルスコーティングを施工

関鉄グリーンバス（本社：茨城県石岡市）では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の一環として、高速バス「鉾田・麻生・潮来・佐原～東京線」に使用する高速バス全車（6両）に、同ウイルスに最大5年間有効な『抗菌・抗ウイルスコーティング』の車内施工を実施いたしました。

この取組みは、お客様及び乗務員の接触感染を防ぐため、手すり、シート、カーテン、窓ガラス、降車ボタン、トイレ内などに、新型コロナウイルスへの有効性が確認された溶剤（無光触媒）を噴霧するもので、施工後は「施工済み」ステッカーの表示を行っています。

関鉄グリーンバスでは、お客様が安心してバスをご利用いただけるよう、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に取り組んでまいります。



使用した触媒と確認されている抗ウイルス効果

- (1) 名称 無光触媒「SKYBE-783」（発売元：株式会社コスモ技研）
- (2) 特徴 光が無い夜間でも、付着するウイルスや菌を不活化します。
無臭、無害で人体への影響はありません。
1回の施工により最大5年程度効果が持続します。
- (3) 効果 「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）」
※ISO18184 及び ISO21702 に準拠した第三者機関の試験結果によって、99.9%以上の減少効果が確認されました。
- (4) その他 施工済みをお知らせするステッカーを乗降口付近の車内及び車外に表示します。